いなづま

JR函館駅前複合施設「キラリス函館」　　撮影：伊東　照勝

ご挨拶

理事長　玉津眞史

早いもので今年も残り少なくなりました。八月三十日から三十一日にかけ、道南地方を襲った台風十号は猛烈な勢いで、渡島、檜山管内に大きな被害をもたらし、強風による樹木の倒壊などの原因により、一時四万戸以上の停電をもたらしました。当組合では三十日、北電からの要請を受け、停電復旧の対第本部を設置し対応をいたしました。午後八時頃から風が強まり、引込線の断線や街路樹の倒壊による通行中車両の破壊等多くの被害をもたらしました。午後十時三十分頃には風も弱まり、その後待機していた組合員の努力で、迅速な対応により、停電を復旧することができました。危険な状況の中、勇敢な復旧作業に心より感謝いたします。

組合の総会後の事業はインターンシップの受入、第二十四回大レクリエーション、安全大会の開催、第一五七回港まつりへの参加等、組合員、組合青年部、協賛各社のご協力をいただき、いずれも盛会のうちに無事終了いたしました。ご参加・ご協力いただいた皆さまには、改めまして感謝申し上げます。今後の事業につきましては、イルミネーション工事を十一月に予定しています、組合員の皆様には今年もご協力よろしくお願いします。

今年度四月から始まった、電力小売の自由化により、新電力会社の参入が相つぎスイッチング工事が予想をはるかに超え、函館管内における申込件数は、年度内には一万件に達する勢いで増加しております。工事に携わる組合員におかれましては、結線等間違いのないよう注意を払って施工していただきたいと思います。

第二回全国技能競技大会が十一月二十五日、東京両国国技館で開催されます。大会に先だち、北海道大会が九月十日、札幌の高等技術専門学校を会場に、全道から十五人の参加により開催されました。当組合から作並電気工事の山田貴史さんが参加し、見事六位以内に入り激励賞を受賞しました。残念ながら全国大会へ

の出場権を獲得できませんでした。今後は全道大会参加へ向けた訓練を仕事に生かし、二年後の大会を目標に力を蓄えて、再度挑戦していただきたいと思います。

終わりになりますが、当組合おいてはここ数年重大な労災事故は発生していませんが、組合各社におかれましては労働災害防止と電気工事のさらなる品質の向上を目指して活動をしていただきたいと考えます。

役員会だより

第一回役員会

二八・五・一〇

一、慶弔報告
(有)マルシチ新栄電気代表者ご尊父逝去
二、貸付報告
一件五〇万円
三、各支部報告並びに提案事項
各支部それぞれ支部会議を開催
四、総務委員会事項
(1) 提案型技術営業研修会の開催結果について
(2) 定期健康診断の実施結果について
(3) 組合員の異動
(4) 平成二八年度（第六八回）通常総会について
(5) 道工組平成二八年度総代会について
(6) 事務局長の選任について
五、事業委員会事項
(1) 内線工事会社研修会の開催結果について
(2) 二級引込線工事士認定講習・認定試験の開催結果について
(3) イルミネーション撤去工事並びに決算報告について
(4) 第二種電気工事士試験（学科）準備講習会について
(5) 第三回役員会及び北工連絡会の開催について
(6) 北電・組合連絡協議会の開催について
(7) 引込線工事士安全技能講習（無墜落昇降柱法訓練）の実施について
(8) 函館工業高校電気科生徒インターンシップ現場実習の受入について
六、その他
(1) 青年部平成二七年度決算報告並びに平成二八年度予算説明
(2) 第二四回大レクリエーション大会の開催について

第二回役員会

二八・五・二七

一、慶弔報告・無し
二、貸付報告・無し
三、各支部報告並びに提案事項
各支部それぞれ支部会議を開催
四、総務委員会事項
(1) 平成二八年度（第六八回）通常総会の開催について
五、事業委員会事項・無し

第三回役員会

二八・六・一七

一、慶弔報告・無し
二、貸付報告・無し
三、各支部報告並びに提案事項
各支部それぞれ支部会議を開催
四、総務委員会事項
(1) 平成二八年度（第六八回）通常総会の開催結果について
(2) 組合員の異動
(3) 事務局職員の賞与の支給について
五、事業委員会事項
(1) 第二種電気工事士試験（学科）準備講習会の開催結果について
(2) 第二種電気工事士試験（技能）準備講習会の開催について
(3) 安全大会の開催について
(4) 第一回電気工事技能競技北海道大会について
(5) 港まつりへの参加について

第四回役員会

二八・八・一九

一、慶弔報告
(株)ワタナベ電器代表者病気見舞い
房立電気工事店代表者病気見舞い
(有)クドウ電設工業代表者ご尊父逝去
邦代電気商会代表者ご母堂逝去
二、貸付報告
一件五〇万円
三、各支部報告並びに提案事項
各支部それぞれ支部会議を開催
四、総務委員会事項
(1) インターンシップ実施結果について
(2) 第二四回大レクリエーション大会の開催結果について
(3) 「いなづま」一四〇号の発行について
五、事業委員会事項
(1) 引込線工事士安全技能講習（無墜落昇降柱法訓練）の実施結果について
(2) 第二種電気工事士試験（技能）準備講習会の開催結果について
(3) 安全大会の開催結果について
(4) 港まつりへの参加結果について
(5) 第一種電気工事士試験（学科）準備講習会の開催について
(6) 一級引込線工事士安全技能講習の開催について
(7) 検満安全パトロールの実施について

組合行事

3月22日　電気工事技能競技大会準備講習（ポリテクセンター）
24日　提案型技術営業研修会（組合会議室＝三〇名受講）
29日　正副理事長・事務局長会議
4月2日～西部支部研修旅行
3日　（北関東・群馬・長野上田方面）
5日～イルミネーション撤去工事
8日　（二十間坂・明治館前通・八幡坂・開港通）
6日　検満業者打合せ会議
8日　電気工事技能競技大会準備講習（ポリテクセンター）

全日　八雲支部会議
14日　第一種電気工事士定期講習（ロワジールホテル＝六八名受講）
全日　電気工事技能競技大会準備講習（ポリテクセンター）
19日　北海道電力㈱関連工事安全協議会　函館配電部会定例協議会に對馬副理事長出席（北電函館支店）
19～20日　定期健康診断（組合＝二三九名受診）
21日　労働保険の更新手続（組合会議室）
全日　電気工事技能競技大会準備講習（ポリテクセンター）
全日　正副理事長・事務局長会議
26日　総務委員会
27日　東部支部会議
全日　北電・道工業組合本部連絡協議会に玉津理事長出席（道電気会館）
28日　道工業組合役員会に玉津理事長・大倉副理事長出席（道電気会館）
全日　電気工事技能競技大会準備講習（ポリテクセンター）

5月2日　組合期末監査
全日　検満業者打合せ会議
8日　第二種電気工事士（学科）受験準備講習会（ポリテクセンター＝一八名受講うち組合員一三名）
10日　総務委員会・事業委員会
全日　第一回役員会
11日　電気工事技能競技大会準備講習（ポリテクセンター）
全日　道工業組合監査に大倉副理事長出席（道電気会館）
12日　道工業組合役員会に玉津理事長・大倉副理事長出席（道電気会館）
13日　渡島支部会議・観桜会
15日　第二種電気工事士（学科）受験準備講習会（ポリテクセンター＝一八名受講うち組合員一三名）
17日　検満業者打合せ会議
18日　中央会理事会・総会に玉津理事長出席（ホテル函館ロイヤル）
全日　西部支部会議
19日　東部支部会議
20日　北部支部会議
22日　第二種電気工事士（学科）受験準備講習会（ポリテクセンター＝一八名受講うち組合員一三名）
24日　電気工事技能競技大会準備講習（ポリテクセンター）
27日　総務委員会・事業委員会
全日　第二回役員会
全日　第六八回通常総会（本人出席四八名）
28日　青年部総会
28日～29日　東部支部研修旅行（青森方面）
29日　第二種電気工事士（学科）受験準備講習会（ポリテクセンター＝一八名受講うち組合員一三名）
31日　電気工事技能競技大会準備講習（ポリテクセンター）

6月7日　検満業者打合せ会議
全日　電気工事技能競技大会準備講習（ポリテクセンター）
全日　道工業組合通常総代会役員一三名・奥村事務局長出席
10日　江差支部会議
13日　函館港まつり「ワッショイはこだて」参加団体事前説明会に奥村事務局長・伊藤主任出席（サンリフレ）
14日　電気工事技能競技大会準備講習（ポリテクセンター）
17日　総務委員会・事業委員会
全日　第三回役員会
全日　北工連絡会（組合会議室＝北電八名・組合一八名出席）
21日　電気工事技能競技大会準備講習（ポリテクセンター）
27日　青年部大レクリエーション大会打合せ会議
28日　電気工事技能競技大会準備講習（ポリテクセンター）

7月1日　二級引込線工事士安全技能講習（組合会議室・北電資材管理跡地＝九四名受講）
4日　西部支部会議・懇親会
5日　検満業者打合せ会議
6日　東部支部会議
7日　函館工業高校インターンシップ安全講習・太平洋セメント上磯工場見学・知内発電所見学（工業高校生徒四〇名）
7～8日　全道事務局長会議に奥村事務局長出席（道電気会館）
10日　函館工業高校インターンシップ現場実習（組合一一事業所ほか五企業・団体生徒四〇名）
11日　第二四回大レクリエーション大会（グリーンピア大沼＝三四四名参加）
12日　電気工事技能競技大会準備講習（ポリテクセンター）
13日　検満業者打合せ会議
函館港まつり「ワッショイはこだて」参加団体責任者会議に奥村事務局長・伊藤主任出席（サンリフレ）
16～18日　第二種電気工事士（技能）受験準備講習会（ポリテクセンター＝組合員一一名）
17～18日　電気工事技能競技大会準備講習（ポリテクセンター）
19日　八雲支部安全大会（北電八雲営業所＝二五名出席）
21日　港まつり担当特別委員会
全日　電気工事技能競技大会準備講習（ポリテクセンター）
22日　安全大会（組合会議室＝一〇五名出席）
25日　福島支部安全大会（北電福島営業所＝九名出席）

27日　江差支部安全大会（北電江差営業所＝二〇名出席）
28日　検満業者打合せ会議
29日　電気工事技能競技大会準備講習（ポリテクセンター）
8月2日　函館港まつり「ワッショイはこだて」（一三〇名参加）
5日　電気工事技能競技大会準備講習（ポリテクセンター）
10日　検満業者打合せ会議
19日　総務委員会・事業委員会
仝日　第四回役員会
23日　電気工事技能競技大会準備講習（ポリテクセンター）
24日　北部支部会議
25日　臨時引込線工事士本部運営委員会に玉津理事長出席
仝日　道工業組合臨時役員会に玉津理事長・大倉副理事長出席
9月1日　検満業者打合せ会議
4日　第一種電気工事士（学科）受験準備講習会（ポリテクセンター＝一六名）
5～6日　電気工事技能競技大会準備講習（ポリテクセンター）
10日　第一回電気工事技能競技北海道大会
11日　第一種電気工事士（学科）受験準備講習会（ポリテクセンター＝一六名）
13日　一級引込線工事士安全技能講習（北電資材管理跡地＝七名受講）
14日　北電・道工業組合本部連絡協議会に玉津理事長出席（道電気会館）
仝日　道工業組合役員会に玉津理事長・大倉副理事長出席（道電気会館）
16日　北電・組合合同安全パトロール（北電四名・組合二名）
18日　第一種電気工事士（学科）受験準備講習会（ポリテクセンター＝一六名）
21日　いなづま編集会議
25日　第一種電気工事士（学科）受験準備講習会（ポリテクセンター＝一六名）

第六十八回 通常総会開催

平成二十八年度第六十八回通常総会が五月二十七日（金）、組合会館大会議室において組合員定数百九十名中本人出席四十八名、委任状出席百十六名で開催された。

奥村事務局長が午後一時三十分に開会を宣言。次いで玉津理事長より挨拶があり、将来的に送配電部門の法的分離が始まり、電気保安の確保や安定した電気の供給を通じて地域社会の安全・安心の提供に努めてほしいと求めた。

次に議長の選出に移り、指名推薦により東部支部の坪光雄氏（ツボ電設工業）が選出され議案の審議に入った。

第一号議案
平成二十七年度事業報告、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分（案）について
事務局より内容説明の後、原案通り可決決定

第二号議案
平成二十八年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について
事務局より内容説明の後、原案通り可決決定

第三号議案
平成二十八年度役員報酬について
事務局より内容説明の後、原案通り可決決定

第四号議案
平成二十八年度組合借入金残高の最高限度額の決定について
事務局より内容説明の後、原案通り可決決定

第五号議案
平成二十八年度一組合員に対する貸付け（手形の割引を含む。）又は一組合員のためにする債務保証の最高限度額の決定について
事務局より内容説明の後、原案通り可決決定

第六号議案
北海道電気工事業工業組合総代及び推薦委員の選出について
事務局より理事会へ一任願いたい旨の提案があり、原案通り可決決定。

以上、すべての議案について原案通り可決し、午後二時四〇分、議長は閉会を宣言し平成二十八年度通常総会は終了した。

青年部活動について

今年度の青年部活動は、例年どおりの事業でありますが、大レクリエーション大会や港まつり等親会事業への協力を行いました。特に大レクリエーション大会では種々の懸案事項を解決すべく、昨年末から検討を重ね、『人・もの・お金・環境』にフォーカスし、限られた人員とお金の中でより良いイベントとすべく、箱館移動販売促進連合会やキッズスタジアムとコラボレーションした試みを行いました。開催後に行った参加者対象のアンケートでは結果も概ね良好で、この結果をもとに来年度はさらにブラッシュアップ（磨き上げた）したイベントにしていきたいと考えております。後段で、担当副部長が本誌に寄稿しておりますので、詳細はそちらをご覧ください。

その他の活動としては、さる九月四日に函館市港町有川埠頭にて開催された、函館私立幼稚園ＰＴＡ連合会主催による「はたらく乗り物ｖｏｌ．五」への参加協力を行いました。今年度も昨年同様、高所作業車三台にて乗車体験を行いましたが、体験できる乗り物が年々増え、我々も綿密な活動計画のもと、実施することができたためか例年よりは疲労も少なく、充実感もいっぱいでご来場いただいた幼稚園児やその父母の皆様には楽しんでいただけたものと思います。

また、十月七日には、ビジネスマナー研修会を実施し、一期一会の大切さを講演いただき、時代を担う我々にとって今後の会社運営に大いに役に立ちました。

また、すでにご案内しております、研修旅行を十一月に実施いたします。

組合員の皆様におかれましては、今後とも青年部へのご指導・ご協力をお願い申し上げまして、青年部活動の報告とさせていただきます。

第二十四回大レクリエーション大会

今年度の第二十四回大レクリエーション大会は七月十日（日）にグリーンピア大沼で開催されました。

昨年度開催後のアンケート内容を踏まえ、昨年末以降、青年部が企画を温め、新たな試みを行おうと模索してきました。競技内容や食事提供などの見直しを行い、かねてからの問題であった青年部員の運営スタッフ不足の改善を検討し、参加される皆さんが楽しい組合行事であると感じてもらえるように取り組みました。

当日は早朝からの霧雨の中でしたが、定刻通り、十時に開始をし、中野青年部長の開会宣言、玉津理事長の挨拶、北海道電力㈱函館支店名畑支店長、井田函館市議会議員の挨拶を頂いた後、全員でラジオ体操を行い、身体をほぐした後いよいよ競技開始となりました。

競技内容としましては、昨年まではメインイベントとして支部対抗綱引きを行っておりましたが、今年度は冠を被った王様を倒したら勝ちという、支部対抗王様ドッチボールを行いました。激しい運動になることから怪我が心配されましたが、怪我もなく皆さんハッスルプレーをしていただきました。

例年食事は青年部員が焼き鳥や焼きそば等を作り提供しておりましたが、ＣＯＣＯ壱番屋のカレー、ひとふね・ハマチャンのたこやき、ＪＯＮＮＹの手羽先等の箱館移動販売促進連合会の協力のもと、食事の提供をしました。また、棒二森屋アネックスにあります、大門キッズスタジアム協力のもと、遊具を置いたキッズスペースを設置し子どもたちにも大変喜ばれたと思います。

霧雨の心配もなくなり、すっかり晴天となった昼食の後、午後の競技であるビンゴゲーム、支部対抗王様ドッチボールの準決勝、決勝の試合が行われました。決勝戦は北海道電力ＶＳ北海電気工事擁する北部支部で、奇しくも

親子？対決となり、しかも北電・北海電工両支店長に王様を務めていただきました。北電名畑支店長の運動神経の良さに感嘆しましたが、チームとして運動神経に勝る？北部支部の勝利となり、王様ドッチボールの初代チャンピオンとなりました。

その後プログラム最後となる大抽選会が行われ、会多くの参加者に豪華景品が当たり全プログラムを終了しました。

閉会式は、大会委員長の大倉副理事長より北海道電力、電材及びメーカー各社、その他協賛して頂いた関係各社に対しての御礼と青年部員に対しての労いの言葉が述べられ、その後全員で後片付けと清掃を行いました。

今年の大レクリエーション大会は新しい試みを行いましたが、怪我やトラブルもなく参加者が楽しい一日が過ごせたと思います。

今年度の反省を活かし来年度以降よりよいレクリエーション大会が開催できるよう、青年部で継続して取り組んで参ります。来年度も多数のご参加お待ちしております。

函館地方電気工事協同組合青年部
副部長　矢本　剛

函館港まつり「ワッショイはこだて」

平成二十八年八月二日、函館港祭り『ワッショイはこだて』十字街・松風コースに、当組合はお馴染みの電線マン音頭で参加いたしました。

今年度は港祭り実行委員会において協議した結果、電源・電飾工事を青年部で施工することとなり、對馬実行委員長より、青年部の若いパワーでどの山車にも負けない電気屋らしい山車にしてほしいと檄を飛ばされ、山車制作に取り掛かりました。

しかし、青年部にて山車を制作するのは初めてのことで、右も左もわかりません。そこで経験者である矢本副部長を制作トップに据え、指示を仰ぎつつも、ランプ位置で口論になるほど熱い議論を交わしながら、山車の制作を完了しました。

いよいよ当日となり、五時四十五分に集合した参加者は軽食で腹ごしらえを済ませ、組合関係参加者百三十人と今年も参加いただいた、渡島コロニーの生徒さんと職員の方四十人を電線マン八人が横一列となって先導し、十字街を出発してパレードスタートです。今年度の電線マンは十一人なので、パレード先導者八名に加え、二人が山車の上で踊って、沿道にアピールを行い、恥ずかしながら私作並がＭＣとしてマイクを握り、今年も賞を取る！を目標に参加者に対し、檄を飛ばしました。

私も皆さんもスタートから飛ばしすぎたせいか、市役所前でヘトヘトになりましたが、その付近にＮＣＶの中継カメラが近くにあることを伝えると息を吹き返し、最後の力を振り絞っていよいよ大門のメインストリートまでラストスパートです。最後までベンジャミンの青年部矢本副部長が列を乱さないよう行進管理をしたことで、最後までビシッと踊りきることができました。

その後、直会会場であるホテル函館ロイヤルへ移動。對馬副理事長の乾杯で、青年部に対し、山車制作と当日のパレード運営を労われたことで、疲れも吹っ飛び、冷えたビールで喉を潤し、体も心もスッキリとしました。参加した皆さんも直会では、抽選会を楽しんでいただき、各所で歓談に花が咲き、笑顔でパレードを終えることができました。

後日の港祭り表彰において、電線マン音頭は同じ衣装で三十年近く出場しているにもかかわらず、コスチューム賞に選ばれました（笑）。

今年度も賞を取るという当初の個人的な（笑）目標を達成することができました。ここ数年何らかの賞をいただいておりますが、準優勝を最高として、優勝経験がありません。来年は八年使用し続けて疲労が見える山車の更新問題など課題が山積しておりますが、優勝目指して頑張りたいと思います。

最後にご参加いただいた組合員とそのご家族の皆様、またご協賛いただいております電材問屋各社並びにメーカー各位に誌上を書いて厚く御礼申し上げます。

函館地方電気工事協同組合青年部
副部長　作並　真一

二級引込線工事士安全技能講習

低圧引込線・低圧計測器工事を施工できる資格である、二級引込線工事士の安全技能講習が、六月二十九日開催され、今年度は、八雲・江差・福島支部の組合員も函館にて一括して受講することとなりました。

また、加齢や身体的な理由で昇降柱ができなくなった工事士を対象に設けられた『低圧計測器工事士』の安全技能講習も併せて行い、昇柱者の地上監視を行いました。

当日は、座学講習を組合会議室で、実技講習を北電資材管理所跡地の模擬柱を使用して実施し、組合員事業所の従業者九十四名が午前と午後に分かれ受講しました。計測器工事における誤結線が散見されることから、今年度も座学講習において計測器結線の正誤問題を実施しました。今年度はスマートメーターが導入され二年目となりますが、新たな機種が順次展開されることとなっており、従来計測器も混在する過度期となっております。施工する機会のない組合員の皆様におかれましても、計測器練習問題を社内で広く伝達いただきたいと思います。

ご多用の中、講師を務めて下さいました北電函館支店の皆様には紙上を借りて厚くお礼申し上げます。

◎引込線工事士制度ついての注意点

●引込線工事士の認定は、発行日より満五年を迎える年末までの期間有効であり、その期間内に安全技能講習を受講しなければ失効します。

●引込線工事士が入退社した場合には『**引込線工事士異動届**』を速やかに組合事務局まで提出ください。

●低圧計測器工事士とは、一級または二級引込線工事士の有資格者が、身体能力低下その他の理由で資格変更を希望し地区運営委員長が認めた者。なお、資格変更と同時に1級・2級引込線工事士資格は停止する。

ただし、所属工事会社の施工会社区分の変更に伴い、引込線工事士資格へ復帰できる要件は

a. 前回の引込線工事士安全技能講習から引込線工事士復帰までの期間が5年以内である場合。

b. 前回の引込線工事士安全技能講習から引込線工事士復帰までの期間が5年超過の場合は、新規に同講習を受講し昇降柱技能を認定された場合。

（引込線工事士運用要領抜粋）

平成二十八年度 安全大会

八月から始まる「電気使用安全月間」に先立ち、本年度の安全大会が当組合管内四箇所で開催され、函館地区では七月二十二日、組合大会議室において、組合員及びその社員一〇五名が参加した。

玉津理事長が「小さなミスでも事故につながる。基本を守り安全な施工をしてほしい」と挨拶。

来賓の中井祐史北電函館支店配電グループリーダーは近年の市内や道内の労災事例を挙げ、「安全な施工に関する取り組みの継続を」と呼びかけた。

安全講話では、函館市総務課防災担当主任の雄崎貴則氏が、「災害に備えて」のテーマにて函館市の災害対策や家庭や地域での取り組みについて解説した。

また、北電函館支店配電グループ総括主任の加藤政司氏からは『ヒューマンエラーについて』と『感電について』がそれぞれ講演された。

特に北電配電グループ加藤総括主任の講演が秀逸で、組合員の皆さまのみならず、広く知っておいていただきたい内容でありました。デスクワーク・現場作業に関わらず、事業所内で広くお伝えいただきたいと思います。

最後に青年部の岩井健太氏（岩井電気工業㈱）が安全宣言を行い閉会した。

また、福島支部は七月二十五日（九名）、江差支部は七月二十七日（二十名）、八雲支部は七月十九日(二十五名）が出席して各北海道電力営業所において開催され、本年度の安全大会は終了した。

就任ご挨拶

北海道電力株式会社
函館支店長
名畑　優

四月二十七日付で函館支店に着任し、四か月余りが過ぎました。当地の勤務は初めてであるとともに、ゴルフの腕試しも初めてです。函館の街と同じく歴史と伝統ある函館ゴルフ倶楽部でのプレーを楽しみにしておりました。昭和二年開場の当倶楽部は、重機の入らない手造りのコースなのでしょう。自然の地形が残され、グリーン周辺のボールの跳ね方が不規則でゴルフの奥深さを感じます。現代のゴルフクラブとボールを使っても手を焼くコースを、ヒッコリーシャフトのクラブでプレーしていた先人達は、さぞかし苦しんだに違いありません。

また、五番ホールからの景色は、函館山や街を一望でき、まさに絶景です。プレーは、そこそこにして、暫し見とれてしまいます。先人達が資金や知恵を出し合って、国際色豊かな街に相応しい社交場として素晴らしいコースを残してくれたことに感謝するばかりです。

歴史と伝統、そして絶景の街、函館。そこに北海道新幹線が開業して、元町界隈や五稜郭公園が観光客で賑わっている様子に触れるたびに、電力安定供給の重要性を痛感しています。

泊発電所は、平成二十四年五月の三号機停止以来、四年以上に亘り、全機停止状態が継続しております。その間、火力・水力発電所は酷使を余儀なくされ、老朽化している火力発電所が多いため、計画外停止が頻発するようになりました。お客さまに節電を呼びかけ、自家発電設備をお持ちのお客さまからの電力購入、緊急設置電源などにより、安定供給を辛うじて果たしている状況です。泊発電所については、一日も早い再稼働に向けて国の原子力規制委員会の審査に鋭意取り組んでおりますが、現時点において、残念ながらその時期を見通せる状況にはなく、厳しい需給状況が続く見込みです。

また、本年四月から電力の小売全面自由化が開始し、北海道においても新電力が電力供給を始めました。古い話になりますが、北海道における電気事業のはじまりは、明治二十四年に開業した札幌電燈舎です。函館でも明治二十八年に函館電灯所が設立され翌年に開業しています。その後、電力需要の増加にあわせ明治末期から大正年間にかけて、数多く電気事業者が誕生し、大正八年末に道内各地で五十社を数えるまで増加したと記録されています。戦後、電気事業再編成によって、当社は北海道における電気事業の多くを引継ぎ、昭和二十六年に誕生しました。

時代とともに経営環境が大きく変化していくなかにあっても、脈々と受け継いできた技術力と使命感をもって、責任あるエネルギー供給の担い手としての役割を全うし、地域の持続的な発展に尽くしていくことが当社の使命であることに変わりはないことを肝に銘じて参る所存であります。

最後になりますが、八月三十日の台風十号により、道南地域は多大な被害を受けました。電気設備も多数の倒壊木によって甚大な被害を受け、停電復旧作業は困難を極めました。地域の皆様には、長期間の停電により大変なご不便、ご迷惑をお掛けしたことを深くお詫び申し上げます。また、電気工事協同組合の皆様のご尽力により、道南地域の灯を守ることができましたことを心より感謝申し上げるとともに、今後とも変わらぬご協力とご理解をお願い申し上げ、挨拶と致します。

函館工業高校電気科生徒インターンシップ現場実習受入

今年度も函館工業高校より当組合に対し、工業高校電気科の生徒インターンシップ現場実習受入の要請がありました。当組合としても函館の電気業界の発展・将来の人材育成のため、例年通り現場実習受入に協力することといたしました。

インターンシップ初日、行程は昨年と同様でした。組合三階大会議室にて玉津理事長の挨拶の後、對馬副理事長より服装の確認・現場での注意事項含めた安全講話、その後バスにて移動し、太平洋セメント上磯工場へ向かいました。施設内にてＤＶＤ鑑賞の後、工場敷地内をバスの車窓から見学しました。雨天だったためバスの中からでは多少見えにくい箇所もありましたが、先方担当者の方の丁寧な説明もあり、生徒たちも熱心に聞き入っておりました。その後は例年お世話になっている北電知内火力発電所を見学させて頂き、インターンシップ初日が終了しました。

二・三日目は各事業所において現場実習でした。ご多忙の中、組合員十一事業所から受入可能とのご回答を頂くことが出来、現場実習を実施していただきました。

最後になりますが、例年インターンシップ現場実習受入にご協力頂いてる組合員の皆様、そして過去受入実績がなく、初のインターンシップ現場実習受入要請にも関わらず快くご協力の回答をして頂いた組合員の皆様、誌上を借り、改めまして厚く御礼申し上げます。

ご協力いただいた組合員

■㈲丸伊イトウ電気商会
■協同電気通信㈱
■タマツ電機工業㈱
■㈱電気企画工業
■㈱ふじでん
■北海電気工事㈱函館支店
■大倉電気㈱
■㈱新営電気設備
■㈱対馬電設
■日興電気㈱
■㈱若狭電気

第二種電気工事士準備講習会受験準備講習会

平成二十八年度第二種電気工事士試験に先立ち、受験準備講習会の学科講習が五月八日・十五日・二十二日・二十九日の四日間、技能講習が七月十六日・十七日・十八日の三日間で実施されました。当組合とポリテクセンター函館との共催となり、二年目となりますが、組合員関係者のみならず、お知り合いの方でも電気工事士資格取得を目指す方には、是非受講をお勧めしたい内容であると思います。

講習内容は大変わかりやすく、過去問を中心に行われ、試験合格に向けて問題の傾向や要点、ヤマの張り方にいたるまで、細部に渡りきめ細やかな講習であると改めて感じました。

試験は上期・下期にわけて行われ、組合員講習受講者十三名のうち、上期筆記試験（六月五日実施）受験者は十二名で、合格率は八三．三％（全国平均六五．二％）

上期技能試験（七月二十三・二十四日実施）受験者は十二名で、合格率は一〇〇％（全国平均七十四．一％）でした。

技能試験では合格率一〇〇％の快挙を達成しました。

最後に、準備講習会を実施して頂いたポリテクセンター函館の講師の皆様に感謝申し上げます。

第一回電気工事技能競技北海道大会

第一回電気工事技能競技北海道大会は、平成二十八年九月十日（土）、札幌市東区の北海道立札幌高等技術専門学院体育館において開催されました。

北海道における競技大会は、昭和五十八年を最後に開催されて以来の開催となります。前号のいなづまでもお知らせしましたとおり、作並電気工事の山田貴史さんが今年一月からポリテクセンター函館にて競技の練習に励んでおりました。四月に全国大会の課題が発表され、同様の課題で北海道大会を行われることが五月に正式に決定し、本番同様の課題で半年間練習に取り組んできました。

毎月三回から五回の練習と本番さながらに行った八月二十九日と九月六日の壮行会を経て、九月十日の本番に臨むこととなりました。

前日の九月九日に札幌入りし、オリエンテーションにて、競技の最終確認を行っていよいよ本番です。

大会当日八時四十五分、出場選手は緊張の面持ちの中開会式が執り行われ、この中で一昨年開催の全国大会で銅賞に輝いた、札幌電協青年部の駒澤知三選手の選手宣誓の後、三時間の競技に入りました。このころには山田選手も緊張が解け、課題に臨んでおりました。途中十分間の一斉休憩の後、競技が再開。金属管施工もいつになく順調で、事前練習時のタイムスケジュールより良いペースで作業が進んでおりましたが、疲れのせいか後半若干の失速が見え、競技時間の三時間を三分切る、二時間五十七分で作品を完成させました。

続いての閉会式において、銅賞三名、銀賞一名、金賞二名の順に結果が発表され、山田選手は銅賞（道工組理事長賞）に輝きました。山田選手は全出場選手の中で誰よりも練習してきた自負があったであろうし、また、その姿を間近で見ておりましたので、残念で悔しい思いでしたが、見事に上位五位に入賞することができました。改めて大会までの努力と銅賞を獲得したことに、心から敬意を表したいと思います。

入賞選手のうち金賞二名が十一月、東京で行われる全国大会に駒を進めることとなり、旭川電協所属選手と札幌電協所属選手が北海道代表として全国の舞台で戦うこととなりました。

結びに、これまでご指導いただいた、ポリテクセンター函館の高木講師と社業多忙の中、選手の出場を決断いただいた作並電気工事、作並社長には、改めて厚く御礼申し上げます。

新加入組合員の紹介

平成二十八年度加入の組合員を紹介いたします。

㈲澤口電気商会（八雲支部）

澤口　誠

昭和二十六年十一月十九日生

二海郡八雲町落部二七二番地

電話　〇一三七―六七―二一三八

推薦人―㈲イナミ電気工業・㈲岡田電気商会

（加入年月日＝平成二十八年六月九日）

組合員の異動

◎**代表者の変更**　（新）　（旧）

一、㈱高橋電工　代表取締役　竹田　邦浩　高橋　哲二

一、北盛電工㈱　代表取締役　中瀬　光則　稲荷　徳蔵

一、㈱菱弘電設　函館営業所　営業所長　藤林　誠二　梅川　敬治

一、㈲ヤマト電気工業所　代表取締役　並川　武光　宮本　正彰

一、㈲松橋電気　代表取締役　松橋　芳一　松橋　芳男

◎**住所変更**

一、日本電設工業㈱　函館営業所

（新）函館市北美原一丁目二―十九

（旧）函館市若松町十二―五

◎**脱　退**

一、函栄電気エンジニアリング

平成二十八年三月二十日

一、㈲逢輝

平成二十八年六月二十日

お悔やみ

平成二十八年

四月二十一日　早川電気商会代表者　ご尊父早川誠悦殿逝去

七月二十八日　㈲クドウ電設工業代表者　ご尊父工藤茂殿逝去

八月　六日　邦代電気商会代表者　ご母堂手塚ミヨ殿逝去

東部支部研修旅行

東部支部では五月二十八日～二十九日で青森に研修旅行を行いました。

例年開催している観桜会に替わり、開業した北海道新幹線を利用し、近場で親睦を深め、新幹線を盛り上げようということで支部会議にて決定し、東部支部員三十四名中、十五名にて実施しました。

当日は函館駅に集合し、二時発のはこだてライナーに乗車、新函館北斗駅で乗換後、北海道新幹線にて青森まで行きました。恒例の車内ワゴンを止めビール・酒で盛り上がり青森に到着。乗り換えを含み二時間、新幹線は一時間だったのに、時間はスーパー白鳥と変わらず、値段は倍です。

駅前のホテルに入り一休み、六時三十分に予約していた地元で有名な津軽じょっぱり漁屋酒場で宴会、帆立の貝焼き味噌やせんべい汁など郷土料理に舌鼓を打ち、毎日演奏しているという津軽三味線を聞き終了。有名な居酒屋のせいか、一次会は混んでいましたが、青森の繁華街は人が少ない印象でした。景気はあまりよくないのでしょうか。

次の日は青森駅前からバスで研修場所である三内丸山遺跡へ。ボランティアの案内で二時間ほど見学しました。三内丸山遺跡は、今から約五千五百年前～四千年前の縄文時代の集落跡で、長期間にわたって定住生活が営まれていた場所で、平成四年からの発掘調査で、竪穴住居跡・大型竪穴住居跡・大人や子どもの墓・盛土・掘立柱建物跡・大型掘立柱建物跡・道路跡などが見つかり、集落全体の様子や当時の自然環境などが具体的にわかりました。また膨大な量の縄文土器などが展示してあり、見応えがありました

その後、青森県観光物産館アスパムにて昼食をとり館内を見学、乗換の待ち時間に新青森駅で駅舎内を見学、函館と違ってお土産・食堂が沢山あり人も混いる印象でした。無事に五時頃函館駅に到着し、解散しました。

新幹線料金は高額のせいか、青森市民は安いのでフェリーを使っているそうです。東京を出発し、仙台・盛岡・青森と降車するので、北海道での降車は全体の二割程度かなと思いました。

今回参加された支部員皆様お疲れ様でした。また企画を練り研修旅行を開催したいと思いますので、その際には是非参加をお願いします。

東部支部支部長　伊東　照勝

災害復旧対応について

台風十号は八月三十日夜、暴風域を伴ったまま、渡島半島の南端をかすめる形で津軽海峡の西側に抜け、渡島・檜山管内に多大な被害をもたらしました。

史上にもまれな経路をたどった台風は、函館地方気

象台によると、三十日夜の最大瞬間風速は、函館市とせたな町で三十六．五メートルに達し、管内の停電は四万五千世帯にのぼりました。

この台風が上陸するにあたり、多大な被害が予想されることから、北電より復旧対応の要請を受け、組合に対策本部を設置し、対応にあたりました。組合員の皆様には、八月三十日の二十時ころから九月二日夜にかけて、合計四十一社、延べ一〇三人、一九三件の引込線断線等による不点作業に対応をいただきました。

特に台風が上陸した当日の八月三十日には、深夜の対応が多数となり、強風・豪雨の中、二次災害の危険があるにもかかわらず、勇敢にまた、迅速に対応いただきました。

さる四月十八日に発生した低気圧の際にも北電より災害復旧対応要請があり、十二社の組合員に対応いただきました。半期に二度要請がある異常気象は、温暖化に伴う海水温の上昇のためか、全国的にも異常な豪雨や台風などが頻発しております。

今後も同種の対応要請が予想されますので、その際には組合員の皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。災害復旧対応いただきました組合員の皆様には誌上を借り、改めまして心より御礼申し上げます。

北電・組合 計測器取替工事合同安全パトロール

平成二十八年九月十六日に北海道電力（株）函館支店配電グループ・組合による低圧計測器取替工事の合同安全パトロールを実施しました。北電配電グループより三名・組合より二名で函館市内三箇所と北斗市三箇所の計六箇所、検満施工会社六社の現場を半日の行程でパトロールを行いました。

パトロール中や終了後の総評の中で、施工面において多少の指摘・推奨事項はあったものの、非常に高い技術レベルにおいて施工されているとの高評価を頂きました。しかし、安全面において何点か指摘事項がありました。高い箇所に設置されている計測器の取替における脚立の使用に関して不安全行為として見受けられた点があり、これについては組合としても改善を要すと判断し、今後指導に努めていきたいと思います。

検満施工会社の皆様には、検満計測器取替工事に加え、電力会社の切り替えに伴う計測器取替工事を兼務して頂いており、いずれも限られた日数の中での作業となります。期日に追われて作業するとヒューマンエラーを起こしてしまう確率が非常に高くなってしまいます。施工するのも確認するのも人間ですからミスをしてしまうのは止むを得ないことです。ミスを最低限にとどめ、冷静な判断力をもって検満施工会社の皆様にはこれからも安全作業とより高い施工品質を目指して頂きたいと思います。

最後になりますが、お忙しい中ご協力して頂いた皆様には深く御礼申し上げます。

編集後記

八月五日から八月二十一日までリオオリンピックが開催された。ちょうど日本と地球の裏側ということで、夜睡眠に入ろうとしているところ日本人選手の活躍でつい夜更かししてしまう毎日で、リアルタイムで感動したオリンピックは初めての事でした。四年後の東京オリンピックではおそらくニュースで結果を知る大会になるのでちょっと物足りないかもしれません。

さて九月十日第一回電気工事技能競技北海道大会が開催されました。我々電気工事業界のオリンピックの予選会のようなものですので、大変盛り上がった大会となりました。函館代表の作並電気工事所属の山田貴史さんは残念ながら金賞を逃がしましたが僅差で激励賞を獲得致しました。ぜひ二年後の第二回大会出場して金賞を狙って頂きたいと思います。過去のいなづまを読み返してみますと、昭和四十四年から昭和五十八年の間で第十五回まで全北海道電気工事技能競技大会が開催され、又函館においてもその予選会に当たる支部対抗技能競技大会が二十名以上の参加で開催されており、大変規模の大きな大会であった様で、驚きました。

二年後の大会もぜひ大勢の組合員のご参加、挑戦に期待しています。

■今月の表紙について

『キラリス函館』

函館駅前和光ビルは建替・解体工事に伴い閉鎖となり、地上一六階建の『キラリス函館』という名称の複合ビルとして建替工事が進んでおります。

『キラリス函館』は、今年七月二十九日、一階商業施設が、十月一五日に三・四階の公共施設がオープンしました。五階以上は分譲マンションとなり、現在工事が進んでいるようです。

『キラリス函館』の命名の由来は、キラキラ美しい夜景など素敵な函館の街並みを駅前から連想できるイメージとのことです。

整備事業が進み、美しくなる函館駅前の新たなランドマークとして、三月に開業した北海道新幹線効果と相まって新たな観光名所となることを期待しています。

今回は㈲丸伊イトウ電気商会　伊東照勝理事に撮影していただきました。

題字　小寺寛一（第二代理事長）

発行所　函館地方電気工事協同組合
編集　総務委員会
住所　函館市日乃出町7番22号
印刷所　龍文堂印刷株式会社

あしたの光で〝ここちよい〟を創ります。
東芝ライテック株式会社
北海道電材営業部函館営業所
〒040-0001 函館市五稜郭町一-十四 五稜郭114ビル三階
TEL 五一-一六〇〇二
FAX 五一-一六〇二四

Panasonic ideas for life
パナソニック㈱エコソリューションズ社
北海道電材営業所
函館電材出張所
〒041-0808 函館市桔梗三丁目三四-一一六
TEL(〇一三八)四七-六三三三
FAX(〇一三八)四七-六三六六

人とあかりの調和を考える
DAIKO
大光電機株式会社
函館事務所
札幌支店 〒064-0804 札幌市中央区南四条西一三丁目二一-二
TEL(〇一一)五六一-八〇六七
FAX(〇一一)五五一-九七〇九
函館事務所 〒042-0943 函館市乃木町二一-一 パレーシャル九七一階
TEL(〇一三八)八四-六四五〇
FAX(〇一三八)八四-六七八五

kawamura
河村電器産業株式会社
北海道支店函館営業所
〒041-0011 函館市本町六-五 富士火災函館ビル三階
TEL(〇一三八)三二-七四三六
FAX(〇一三八)三二-七四三七
北海道支店
〒003-0006 札幌市白石区東札幌六条一丁目二-三〇 札幌三信物流ビル四階
TEL(〇一一)八二一-五三一一
FAX(〇一一)八二二-〇五〇四

ISHIGAKI
ハイテク電気設備機器と情報通信エンジニアリングサービス
石垣電材株式会社
本　社 〒060-0006 札幌市中央区北六条西一三丁目一番地 ☎(〇一一)二一〇-五二二一番
函館支店 〒041-0824 函館市西桔梗町五八九番地三一五 ☎(〇一三八)四九-六二一一番
八雲営業所 〒049-3104 二海郡八雲町内浦町二三四-五 ☎(〇一三七)六三-三二六九番

未来環境を語る・造る
株式会社 工ミヤ
函館営業所
〒041-0824 函館市西桔梗五八九-四九
電話 四八-五七五一(代表)
本社 札幌・営業所 釧路、苫小牧、小樽

TANAKA CO.,LTD
情報社会をパフォーマンスする
田中商事株式会社
函館営業所
〒040-0072 函館市亀田町十三番八号
電話 四〇-〇八〇〇
本社・東京 営業所・札幌、札幌東、釧路

電設資材総合卸
株式会社 新光照明
〒040-0024 函館市高盛町七番一号
TEL(〇一三八)五五-〇六三三(代)
FAX(〇一三八)五五-〇八一〇
〒007-0812 札幌市東区東苗穂十二条三丁目十九番六号
TEL(〇一一)七九〇-二五二二(代)
FAX(〇一一)七九〇-二五三三